

平成19年11月16日

伊那市長 小坂 愷男 様

伊那市の歌、花、木、鳥候補選定委員会
委員長 春日 博人

伊那市の歌、花、木、鳥候補選定について（報告）

平成19年6月12日付伊政第91号で依頼のありましたこのことについて、当委員会として候補を選定いたしましたので、下記のとおり報告します。

なお、花、木、鳥については、ひらがな表記とし、選定理由等については別紙のとおりです。

記

- 1 伊那市の歌 『旧・伊那市の歌』
- 2 伊那市の花 『さくら』
- 3 伊那市の木 『かえで』
- 4 伊那市の鳥 『らいちょう』

伊那市の歌、花、木、鳥候補選定理由等

平成19年11月16日

伊那市の歌、花、木、鳥候補選定委員会

『旧・伊那市の歌』を伊那市の歌の候補として選定した理由等

1 選定経過

伊那市の歌の選定に当たっては、「旧・伊那市の歌」「旧・高遠町町歌」「旧・長谷村歌」も候補の対象とする中で、旧3市町村の歌の合唱を生で聴くなど、歌詞の内容と曲を十分に確認したうえで、委員全員から理由を付した候補提案を受け、慎重に検討を進めました。

候補としては「旧・伊那市の歌を候補にする。」という意見と「新たな歌を制作する。」という2つの意見が出ましたが、次のような理由で『旧・伊那市の歌』を伊那市の歌の候補として選定しました。

2 選定理由

『旧・伊那市の歌』の歌詞は伊那市の自然、風景、情景、希望、融和、力など叙情性にあふれるとともに、逞しく飛躍していく伊那市の姿が存分に謳われています。

加えて、伊那地域、高遠町地域、長谷地域の伊那市のすべての地域を表した内容となっており、歌詞の内容を変える必要もなく、正に伊那市の歌としてもっともふさわしい歌詞となっています。

作詞は長野県を代表する歌人故宮脇至氏、補作は戦後数々のヒット曲を生み出した作詞家である故佐伯孝夫氏であり、地域はもちろん全国にも誇れる先生方の作となっています。

曲は伸びやかで広がりがあり、大勢で歌うと歌詞と旋律が一致し意気が高揚されるとともに、歌う人にとっても聴く人にとっても心に響き酔いしれる感動があり、更には気持ちも爽やかになる、正に市民が歌うのにふさわしい名曲といっても過言ではありません。

作曲は、伊那市名誉市民であり、日本を代表する作曲家故高木東六氏であり、この曲は高木東六氏の数多くある曲の中でも代表的な名曲であるといわれています。

平成18年6月、「旧・伊那市の歌」を市の歌にするという陳情が出され、同年9月議会において趣旨採択がされているということ、また、新たな歌を制作しても旧3市町村のものを超えるものができる保障もなく、馴染みのある旧3市町村の歌から選ぶことが賢明であるということから『旧・伊那市の歌』を伊那市の歌の候補として選定しました。

3 付 記

「旧・高遠町町歌」「旧・長谷村歌」もそれぞれに素晴らしい歌であり、地域で歌い継がれるように努めてください。

『さくら』を伊那市の花の候補として選定した理由等

1 選定経過

伊那市の花の選定に当たっては、旧市町村の花であった「ツツジ(旧伊那市)」「コヒガンザクラ(旧高遠町)」「クロユリ(旧長谷村)」も候補の対象とする中で、検討を進めました。

委員会においては、長野県・県下18市・上伊那郡内町村の状況を把握するとともに委員提案の花の画像・概要を十分確認する中で、委員全員から理由を付した候補提案を受け、慎重に検討を進めました。

最初、候補としては「さくら」「コヒガンザクラ」「シバザクラ」「つつじ」「クロユリ」「クマガイソウ」など多くの意見が出ました。また、桜は花か木かということ、そして最後には「さくら」とするか「コヒガンザクラ」とするかで議論が交わされましたが、次のような理由で『さくら』を伊那市の花の候補として選定しました。

また、表記について「ひらがな」とするか「カタカナ」とするか「漢字」とするかということについても検討を重ねた結果、動植物は学術的な表記をする場合はカタカナであるが、市の象徴的なものはそのようなことにこだわることなく、ひらがなのほうが上品で穏やかな表現であり、花・木・鳥ともひらがな表記としました。

2 選定理由

伊那市には高遠城址公園、春日公園、伊那公園、六道の堤、三峰川堤防など市全域に桜の名所があると同時に、地域の公民館、学校、堤防など市内に数多くの桜が植えられており、山の桜から里の桜まで伊那市の風景とも溶け合い、伊那市全体が桜の里と思えるほどとなっています。それ故、桜はそれぞれに伊那市の長い歴史にかかわってきた花となっています。その種類も、「天下第一の桜」といわれるタカトオコヒガンザクラ・ヒガンザクラ・ソメイヨシノ・シダレザクラ・ヤマザクラなどと多くの種類が存在しています。

また、伊那市は現在それらすべての桜を対象とし「日本一の桜の里づくり」をすすめており、今後伊那市を日本一の桜の里としていくためにも『さくら』を伊那市の花の候補として選定しました。

3 付 記

- (1) 桜の計画的保護・育成に努めてください。
- (2) コヒガンザクラについては、観光面で更に全国的に名を高めるよう努めてください。
- (3) 日本一の桜の里づくりをこれからも進めていくよう努めてください。

『かえで』を伊那市の木の候補として選定した理由等

1 選定経過

伊那市の木の選定に当たっては、旧市町村の木であった「ヤナギ(旧伊那市)」「コヒガンザクラ(旧高遠町)」「カエデ(旧長谷村)」も候補の対象とする中で、検討を進めました。

委員会においては、長野県・県下18市・上伊那郡内町村の状況を把握するとともに委員提案の木の画像・概要を十分確認する中で、委員全員から理由を付した候補提案を受け、慎重に検討を進めました。

最初、候補としては「カエデ」「サクラ」「コヒガンザクラ」「ツツジ」「ケヤキ」「カラマツ」「シラカバ」「ヤナギ」など多くの意見が出ましたが、次のような理由で『かえで』を伊那市の木の候補として選定しました。

また、表記について花・鳥と同様な理由で、ひらがな表記としました。

2 選定理由

楓は伊那市内の山地に多く自生するとともに、公園や庭園の樹木としても多く活用されており、高遠城址公園の楓など市内各地で幅広く見ることができ、さらに、長谷地域では楓の植樹を行ってきています。

また、楓は、春の芽吹き秋の紅葉の美しさと過酷な条件でも根を伸ばすという強い生命力を持ち合わせた木であり、自然環境を保全し、自然と共生するまちづくりを目指す伊那市にふさわしい木であります。

その種類も、イタヤカエデ・ホソエカエデ・ハウチワカエデなど20種類に近い楓が存在しており、また、伊那市の花の候補として選定する春の桜に対して秋の楓の紅葉は美しく『かえで』を伊那市の木の候補として選定しました。

3 付 記

- (1) 伊那市に昔から自生している在来種を植えていくよう努めてください。
- (2) 楓も植樹するなどして、伊那市をPRする木としていくよう努めてください。

『らいちょう』を伊那市の鳥の候補として選定した理由等

1 選定経過

伊那市の鳥の選定に当たっては、旧長谷村の鳥であった「ライチョウ」も候補の対象とする中で、検討を進めました。

委員会においては、長野県・県下18市・上伊那郡内町村の状況を把握するとともに委員提案の鳥の画像・概要を十分確認する中で、委員全員から理由を付した候補提案を受け、慎重に協議を進めました。

最初、候補としては「ライチョウ」「キジ」「カワセミ」「カッコウ」「メジロ」など多くの意見が出ましたが、慎重審議の結果、次のような理由で『らいちょう』を伊那市の鳥の候補として選定しました。

また、表記について花・木と同様な理由で、ひらがな表記としました。

2 選定理由

雷鳥は、伊那市の南アルプスに生息し、アルプスを象徴する鳥であります。また、厳しい条件の中で逞しく生きている姿には大きな感銘を覚え、その姿は南アルプスを訪れた人誰もが親しみを感じる姿であるとともに、高山に棲んでいるということで非常に憧れを抱くことのできる鳥です。

また、伊那市が「二つのアルプスに抱かれた自然共生都市」を将来像としていること、南アルプス世界自然遺産登録をめざしていることなどがあり、雷鳥はまさにその代名詞そのものです。

雷鳥は、3,000メートル級の山々を擁する伊那市でないと選べない鳥であり、伊那市の象徴として『らいちょう』を伊那市の鳥の候補として選定しました。

3 付 記

雷鳥が絶滅しないよう、保護に努めてください。

伊那市の歌

宮脇 至 作詞
佐伯 孝夫 補作
高木 東六 作曲

(しずかに 悠々と なつかしく) ♩=72 くらい



1) あけ ゆくやまよ みどりにはえて しろきこまが



ねのそらにすがしく はれゆくたによ さぎりはきえ



てあがるしぶきに にーじーがたつかぎりなくきよ



らかなわれらの伊那市 ああうるわしくとわなるさん



がああたからかにうたえふるさと

伊那市の歌

宮脇 至 作詞
佐伯 孝夫 補作

一

明けゆく山よ みどりに映えて
白き駒が嶺の 空にすがしく
晴れゆく谷よ 狭霧は消えて
あがるしぶきに 虹が立つ
限りなく 清らかな われらの伊那市
ああ 美わしく永遠なる山河
ああ 高らかに謳え ふるさと

二

光まばゆく 気は澄み渡り
遠き祖先達 つねに尊し
うけ継ぐ生命 新たな 希望
強く抱きて 伸びゆくわれら
限りなく 逞しき われらの伊那市
ああ みすぐかる信濃の誇り
ああ 高らかに謳え ふるさと

三

輝く麓 栄ゆくところ
ひろき河原辺の 花もいとしや
謳えどつきぬ 歎びこめて
友よ手をとり 進みてゆかん
限りなく たゆみなぎ われらの伊那市
ああ 伊那市こそ平和に生きる
ああ 高らかに謳え ふるさと

伊那市の花、木、鳥候補写真

花



高遠城址公園と南アルプス



三峰川堤防のさくらと中央アルプス

木



春日公園のかえで



高遠城址公園のかえで

鳥



南アルプスのらいちょう



南アルプスのらいちょう

伊那市の歌、花、木、鳥候補選定委員会名簿

氏 名	団 体 等	備 考
下 島 省 吾	伊那市議会	識見を有する者
中 村 威 夫	伊那市議会	
荒 井 孝	NPO法人伊那芸術文化協会	
北 沢 理 光	伊那フィルハーモニー交響楽団	
武 田 登	伊那市公民館運営協議会	
柄 山 祐 希	生涯学習関係者	
土 井 元 章	国立大学法人信州大学農学部	
木 下 新 司	日本野鳥の会伊那支部	
春 日 博 人	伊那市文化財審議委員会	
北 原 齊	伊那区域	地域を代表する者
北 村 十 九 一	高遠区域	
市ノ羽 皓	長谷区域	
橋 爪 将 司	伊那市観光協会	団体を代表する者
有 賀 喜 志 子	伊那市女性団体連絡協議会	
小 林 沙 織	社団法人伊那青年会議所	

伊那市の歌、花、木、鳥候補選定委員会検討経過報告

	期 日	場 所	内 容
第 1 回	6 月 1 2 日 (火)	庁 議 室	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 委員委嘱 2 . 正副委員長の選任 3 . 市長より伊那市の歌・花・木・鳥の候補選定について依頼を受ける。 4 . スケジュール、検討方法等について協議を行う。
第 2 回	7 月 1 8 日 (水)	生涯学習センター 多目的レッスン室	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 歌について、旧 3 市町村の歌を生 の合唱で聴き、歌詞の内容、曲を 確認する。 2 . 花・木・鳥について、「旧 3 市町 村の状況」「郡内他市町村の状況」 を確認の上、委員全員よりの意見 を聞き検討を行う。
第 3 回	8 月 2 7 日 (月)	庁 議 室	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 歌について、委員全員より意見を 聞き検討を行う。
第 4 回	1 0 月 1 0 日 (水)	庁 議 室	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 歌・花・木・鳥の全ての項目につ いて委員全員からの意見を聞き 検討を行い、候補を選定する。
第 5 回	1 1 月 1 6 日 (金)	庁 議 室	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 選定理由等を確認の上、最終報告 を作成する。 2 . 伊那市の歌・花・木・鳥の候補選 定について市長へ報告を行う。

伊那市の歌・花・木・鳥候補選定資料

1 伊那市の歌の作詞・作曲者について

(1) 作詞：宮脇至《みやわきいたる》(筆名：宮脇臻之介《みやわきしんのすけ》)

- ・長野県を代表する歌人、教育者
- ・明治 44 年駒ヶ根市中沢に生まれ、伊那市春日町に居を構えた
- ・『信州多磨』、昭和 28 年『信州形成』を主宰
- ・昭和 24 年日本歌人クラブ会員
- ・昭和 26 年歌集「廃れたる峠」を刊行、昭和 52 年歌集「無韻の章」を発表
- ・昭和 49 年体験記録「遙かなる山河」を刊行
- ・昭和 51 年「人間の歌」「続人間の歌」を発表
- ・昭和 56 年から約 2 年間、伊那毎日新聞に「いなびとのうた」を掲載
- ・『伊那市の歌』、『飯田市市歌』を作詞

(2) 補作：佐伯孝夫《さえきたかお》(本名：和泉孝夫)

- ・東京都出身
- ・早稲田大学仏文科卒業後、新聞記者となる
- ・昭和 14 年ビクターレコード専属作詞家となる
- ・西條八十の門下生の 1 人
- ・「有楽町で逢いましょう」「東京ナイト・クラブ」「潮来笠」「いつでも夢を」など数々のヒット曲を生み出した

(3) 作曲：高木東六《たかぎとうろく》

- ・明治 37 年鳥取県米子市に生まれる
- ・幼少期を母の郷里の茨城で過ごす
- ・12 歳から関東大震災で被災する 19 歳まで横浜に居住
- ・大正 13 年東京音楽学校(現東京藝術大学)ピアノ科に入学
- ・昭和 3 年学園紛争に巻き込まれ、卒業目前で中退
- ・昭和 3 年 12 月から昭和 7 年 3 月までフランスに留学
- ・昭和 16 年に作曲の「朝鮮舞踊組曲」は満州新京交響楽団応募作品第 1 位に輝き、その中の 1 曲「朝鮮の太鼓」は文部大臣賞を受賞
- ・昭和 20 年から 27 年までの約 7 年間、伊那市へ疎開していた
- ・疎開先の伊那市で作曲した「水色のワルツ」が昭和 25 年に大ヒット
- ・その他、「浅き春に寄せて」(詩：立原道造)、「夢見たものは」(詩：同)、「テラス」(詩：高木東六)、「空の神兵」(作詞：梅木三郎)など
- ・テレビでも、NHK の「あなたのメロディー」や TBS の「家族そろって歌合戦」の審査委員として出演
- ・神奈川文化賞、横浜文化賞を受賞
- ・勲四等旭日小綬章を受章
- ・平成 9 年米子市の市民栄光賞を受ける
- ・平成 16 年伊那市に「高木東六先生記念碑」が建立され、伊那市名誉市民となる

2 伊那市の花、木、鳥候補の概要

(1) 花：さくら

- ・バラ科サクラ属の植物のうち、ウメ、モモ、アンズなどを除いた総称
- ・原生種としてはヤマザクラ、オオシマザクラなど4種類ほどが認められている
- ・園芸品種が多く、江戸末期に開発されたソメイヨシノは明治以降全国に広がった
- ・伊那市内の桜の種類は次のとおり
春日公園：ソメイヨシノ、コヒガンザクラ
伊那公園：ソメイヨシノ
青島堤防：ソメイヨシノ
六道の堤：ソメイヨシノ
高遠城址公園：タカトオコヒガンザクラ（高遠のコヒガンザクラ樹林が、昭和35年に長野県天然記念物に指定）
勝間薬師堂：しだれ桜、コヒガンザクラ
花の丘公園：ソメイヨシノ、ウコン、カンザン、ベニユタカなど100種類
- ・県内では南相木村が山桜、清内路村がしだれ桜、小谷村が大山ざくらをそれぞれ村の花としている

(2) 木：かえで

- ・別名「もみじ」
- ・カエデ科カエデ属の落葉高木の総称
- ・旧長谷村の木。以前から長谷地区では楓を植樹してきている
- ・県内で楓を市町村の木としている自治体はない
- ・一般的に見かけるものはイロハカエデ
- ・かえでの種類は、20種類と多い

(3) 鳥：らいちょう

- ・キジ目ライチョウ科の鳥
- ・夏は褐色、冬は純白と季節によって羽毛の色が変化するのが特徴
- ・国の特別天然記念物
- ・環境省のレッドリストに絶滅危惧類としてあがっている
- ・種の保存法に基づき国内希少野生動植物種に指定されている
- ・長野県の県鳥、岐阜県・富山県の県鳥でもある
- ・県内では、大町市がライチョウを市の鳥としている